

1 単元名 器械・器具を使つての運動遊び（ま・ゆ・みランドへ，レッツゴー）

2 単元の目標

- いろいろな方向への転がり，手で支えての体の保持や回転ができるようにする。（技能）
- 順番やきまりを守り，友達と仲よく楽しみながら運動することができるようにする。（態度）
- 場に合った運動の仕方や，いろいろな動きを見付けることができるようにする。（知識，思考・判断）

3 単元について

(1) 教材観

器械・器具を使った運動遊びでは，できる・できないが明確に表れるため，学習意欲に差がでてしまうことが心配される。全ての児童がいろいろな動きに楽しく取り組み，動きを身に付けられるようにしたり，動きの感覚が分かったりするような経験を積むことが大切であると考え。そのためには，恐怖心を取り除ける場や声かけによる動きのリズムの工夫から，学習意欲を喚起できるようにする。また，器械・器具を使った運動遊びは，自分の技能にあった動きを身に付けたときに喜びを味わうことができる運動であることから，それぞれの動きのポイントに気付くことができるようにしたり，グループで技を見合ったり学び合ったりして運動についての思考・判断を高められるようにする。これらのことから，仲間とともに運動の楽しさを味わいながらいろいろな動きに挑戦し取り組んでいく経験を積むことで，結果として，技能が高められ主体的に運動に取り組む力を育てていくようにする。

(2) 児童の実態

表1は，マット運動遊びに関する意識調査の結果である。本学級の児童は，マットを使った運動遊びを楽しんでいる児童が*人，怖いと思う児童が*人いることが分かった。怖いと思う理由に，マットの上で回転することや体を支える運動遊びの経験が少ないことから，体の動かし方が分からないことが考えられる。人に見られることへの抵抗があったり技への恐怖心があったりして失敗することを恐れていることも考えられる。また，新たに挑戦してみたいマット運動遊びについてきいたところ，いろいろな技をたくさん覚えたい児童が*人，難しい技に挑戦したい児童が*人，今できる技を上達させたい児童が*人であった。そこで，仲間とともに運動の楽しさを味わいながら，主体的に運動に取り組む力を育てられるような学習の場を設定することが必要だと考える。

表1 マット運動遊びに関する意識調査

（平成*.*.*.実施 ***立*小学校第2学年*人）

	調査内容	調査結果(人)
1	マットを使った運動遊びが楽しい。	そう思う:*人, 思わない:*人
2	いろいろな技をたくさん覚えたい。	そう思う:*人, 思わない:*人
3	難しい技に挑戦したい。	そう思う:*人, 思わない:*人
4	今できる技を上達させたい。	そう思う:*人, 思わない:*人

(3) 指導観

児童が，いろいろな動きができるよう場を意図的に設定し，仲間とともに運動の楽しさを味わいながら，仲間の技や掲示物を見て活動することを楽しめるようにする。グループで活動することで，必然的に友達が新しい動きを練習する姿を見ることから，学び合いや動き方を知ることができたり，タブレット端末の映像を見たりして，主体的に取り組むことができるようにしていく。児童が体の動かし方を考えながら学習に取り組む活動を通して，運動についての思考・判断を高め，いろいろな動き方を試し，練習を繰り返して行ううちに結果として，技能が高められるようにする。体を動かす時には，児童の動きに合うように口伴走による声かけを工夫して行い，動きにリズムをもたせて動きをスムーズに行えるようにする。体の動かし方を知る経験を積むことで新しい動きができるようになる。そこで，本単元名を「ま・ゆ・みランド」と称し「まわる・ゆっくり・みんなで」をキーワードに単元を展開していくこととする。5つの場を設け，グループごとに全ての場で学習する活動を取り入れ，運動の楽しさを味わいながら主体的に運動に取り組む力を育てられるようにしていく。

4 単元の評価規準（学習活動に即した評価規準）

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
し学 た習 評活 価動 規に 準即	①マット運動遊びの学習に◎進んで取り組もうとしている。 ②順番やきまりを守り，友達と◎仲よく運動をしようとしている。 ③友達と◎協力して，器械・器具の準備や片付けをしようとしている。 ④運動の仕方や器械・器具の扱いに注意し◎安全に行おうとしている。	①様々なマットや平均台を使った運動遊びの行い方を知り，◎場に合った運動の仕方を見付けている。 ②マット運動遊びの動き方を知り，◎友達のよい動きを見付けている。	①いろいろな方向への転がり，◎手で支えての保持や回転などができる。

◎下線は十分に満足できる姿

5 指導と評価の計画（8時間扱い）○は本時

段階	時間	学習のねらい、学習活動	評価の観点			評価方法
			関意態	思考判断	技能	
1 はじめ	1	<input type="checkbox"/> 学習のねらい、学習計画を知る。 <input type="checkbox"/> 学習の方法や、場を知る。 1 学習のねらい、学習計画を知る。 2 学習の進め方を学ぶ。 3 学習の準備を行う。 4 学習の準備を整える。 5 学習の準備を整える。 6 学習の準備を整える。 7 学習の準備を整える。（学習カードの記入）	①			観察 学習 カード
2 なか (1)	2	<input type="checkbox"/> 自分ができる動きを見付ける。 1 自分ができる動きを見付ける。 2 自分ができる動きを見付ける。 3 自分ができる動きを見付ける。 4 自分ができる動きを見付ける。 5 自分ができる動きを見付ける。 6 自分ができる動きを見付ける。（学習カードの記入）	② ③		①	観察 学習 カード
	3	<input type="checkbox"/> 自分ができる動きを見付ける。 1 自分ができる動きを見付ける。 2 自分ができる動きを見付ける。 3 自分ができる動きを見付ける。 4 自分ができる動きを見付ける。 5 自分ができる動きを見付ける。 6 自分ができる動きを見付ける。（学習カードの記入）		①		
なか (2)	4	<input type="checkbox"/> 自分ができる回り方や動きを知る。 <input type="checkbox"/> みんなでできる回り方や動きを見付ける。 1 自分ができる回り方や動きを知る。 2 自分ができる回り方や動きを見付ける。 3 自分ができる回り方や動きを見付ける。 4 自分ができる回り方や動きを見付ける。 5 自分ができる回り方や動きを見付ける。 6 自分ができる回り方や動きを見付ける。（学習カードの記入）	③ ④		①	観察 学習 カード 映像
	5	<input type="checkbox"/> 自分ができる回り方や動きを知る。 <input type="checkbox"/> みんなでできる回り方や動きを見付ける。 1 自分ができる回り方や動きを知る。 2 自分ができる回り方や動きを見付ける。 3 自分ができる回り方や動きを見付ける。 4 自分ができる回り方や動きを見付ける。 5 自分ができる回り方や動きを見付ける。 6 自分ができる回り方や動きを見付ける。（学習カードの記入）		①	①	
	⑥ 本時	<input type="checkbox"/> 自分ができる回り方や動きを知る。 <input type="checkbox"/> みんなでできる回り方や動きを見付ける。 1 自分ができる回り方や動きを知る。 2 自分ができる回り方や動きを見付ける。 3 自分ができる回り方や動きを見付ける。 4 自分ができる回り方や動きを見付ける。 5 自分ができる回り方や動きを見付ける。 6 自分ができる回り方や動きを見付ける。（学習カードの記入）		②		
なか (3)	7	<input type="checkbox"/> みんなでできる動きや回り方を練習する。 1 みんなでできる動きや回り方を練習する。 2 みんなでできる動きや回り方を練習する。 3 みんなでできる動きや回り方を練習する。 4 みんなでできる動きや回り方を練習する。 5 みんなでできる動きや回り方を練習する。 6 みんなでできる動きや回り方を練習する。（学習カードの記入）			①	学習 カード 映像
3 ま と め	8	<input type="checkbox"/> みんなで一緒に回ったり、動きを組み合わせたりすることを楽しむ。 1 みんなで一緒に回ったり、動きを組み合わせたりすることを楽しむ。 2 みんなで一緒に回ったり、動きを組み合わせたりすることを楽しむ。 3 みんなで一緒に回ったり、動きを組み合わせたりすることを楽しむ。 4 みんなで一緒に回ったり、動きを組み合わせたりすることを楽しむ。 5 みんなで一緒に回ったり、動きを組み合わせたりすることを楽しむ。 6 みんなで一緒に回ったり、動きを組み合わせたりすることを楽しむ。（学習カードの記入）	②	①		観察 学習 カード 映像

6 本時の学習

(1) 目標

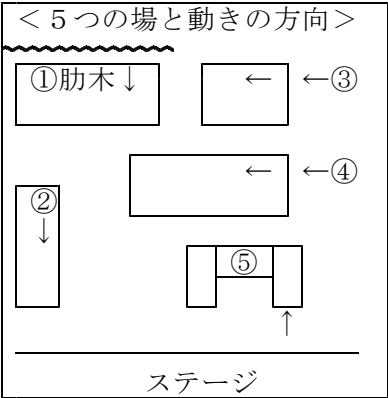
- いろいろな方向への転がり、手で支えての保持や回転ができる。 (技能)
- 進んで順番やきまりを守り、友達と仲よく運動をしようとしている。 (態度)
- **マット運動遊びの動き方を知り、場に合った友達の良い動きを見付けている。**

(思考・判断)

(2) 準備・資料

坂道マット、セーフティーマット（大小）、平均台、学習カード、タブレット端末、リズムカード、ペットボトル、

(3) 展開

	学習活動・内容	指導上の留意点	評価の観点、方法
はじめ 5分	<p>1 整列、あいさつをする。</p> <p>2 本時のねらいと学習の流れを確認を知る。</p> <p>○グループで、できる動きをみつけよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつの様子から健康観察を行う。 ・服装の確認をし、安全に学習が進められるようにする。 ・本時のめあてを全員で読み、本時の学習を知る。 ・組み合わせたり一緒に回転したりする動きを考えグループみんなで行うことを理解できるようにする。 	
なか か	<p>3 学習の場の準備を行い、その後準備運動を行う。</p> <p>まー真っ直ぐ回って ゆーゆっくり、大きく回って みーみんなですろえて</p> <p><場について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・場を5カ所設定し、5つのグループでローテーションを行う。練習は、全ての場を使って行う。 ・①肋木を使った場 ②坂道マット ③セーフティーマット ④長マット ⑤短マットの組み合わせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の進め方が分かるようにする。 ・場の作り方や役割の決まりを守り安全に行えるようにする。 ・掲示物やタブレット端末による映像を活用して、練習できるようにする。 	
35分	<p>4 動きの練習を行う。</p> <p>(1)グループでできそうな動きを見付け、練習する。</p> <p><5つの場と動きの方向></p>  <p>ステージ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでできそうな動きでは、みんなで一緒に回転したり、動きを組み合わせたりして行えるようにする。 ・アドバイスタイムや話し合う時間をとるようにし、動きを教え合い学び合えるようにする。 ・時間を決めてグループ毎に5つの場で練習することで、いろいろな動きを見合ったり、教え合ったりして考えられるようにする。 ・考えた動きが分かるよう、タブレット端末を活用し、映像を残しておけるようにする。 	<p><思考・判断①> マット運動遊びの動き方を知り、◎みんなで回れるような友達の良い動きを見付けている。(学習カード・観察・映像)</p> <p>□動きの掲示物や口伴奏による声かけ、映像を活用し、様々なマットを使った運動遊びの動き方が理解できるよう個別に指導する。</p>
おわり 10分	<p>5 本時の学習を振り返り、学習カードに記入する。</p> <p>6 整理運動、片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめを学習カードに記入するように促す。 ・体調や怪我の有無を確認し、健康状況を確認する。 	

※ ゴシック体は十分に満足できる状況(A)にある児童生徒の学びの姿
□は努力を要する児童生徒への手だて